

養護老人ホームぬく森 内覧会のご案内

日時

①平成31年2月22日(金) ②平成31年2月23日(土)
両日とも午前10時から12時及び午後1時から午後3時まで

場所

養護老人ホームぬく森
犬山市羽黒安戸南一丁目55番地

ぜひお越し
ください!



小さな椅子を
タイルで
飾り付け!

感謝の集い

ボランティアの皆様方には日頃から入居者のために活動していただきありがとうございます。日頃の感謝を込めて、皆様をお誘いして「ボランティア感謝の集い」を11月30日に行いました。

昼食会はTREE by NAKED tajimilに行き、今話題のプロジェクトマッピングによる四季の変化を感じられる映像を見ながらおいしいご飯をいただきました。

タイルの原料を掘り出す「粘土山」のような外観のモザイクタイルミュージアムでは、『タイルのカーテン』などの作品を鑑賞したり、体験工房では好きなタイルを貼り合わせ、世界に一つだけのタイルアートを作りました。

ボランティアの皆様方には見て触れて楽しんでいただけたようです。引き続きボランティア活動へのご協力よろしくお願いたします。

新入職員紹介

職員一同頑張りますので
宜しくお願いします。



介護士 鈴木元央 介護支援専門員 加藤真由美 介護士 篤谷亜紀 管理栄養士 土井葉月 介護士 伊藤雅夫 介護士 佐合広光 介護士 小笠原好孝 介護士 服部知子

ご協力ありがとうございました

ボランティアありがとう

阿諏訪澄枝	佐野千津子	番匠谷敏子	移動美容室「ひまわり」
伊神はる子	佐橋千恵子	日比野綾子	(株)HSホールディングス
石原幸男	島田貞子	福富みちる	きれいや総研
和泉光子	田中千代枝	舟橋美佐	華工房
江口志のぶ	津村春い	宮田孝子	プラス
大島みさ糸	豊田孝子	山口昭恵	まちネット大口おりひめ
大澤未来	鈴木光雄	山本友子	理容「アダムス」
工藤博子	丹羽佐月	吉田英翠	朗読ユニットまどか
熊沢広子	納堂厚子		
桑原紀	野村歌子		

激励訪問ありがとう

隈元朱音
犬山老人クラブ連合会芸能部
白ゆりの会
シルバーカラオケ同好会
鈴広会
春日会
豊香会
藤竹バイオリン教室

善意ありがとう

(福)犬山市社会福祉協議会
犬山市共同募金委員会
(福)犬山市社会福祉協議会城東支部
(福)中部善意銀行

平成30年9月1日～平成30年12月31日
※敬称略・順不同

2019
第63号
NUKUMORI

ぬくもり

迎春



新年のご挨拶



社会福祉法人ともいき福祉会
理事長
栗原 正寛



あけましておめでとうございます。旧年中は利用者の皆様、ご家族様には施設運営にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。また、地域の皆様方、取引先の皆様方にも様々な形でのご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。ここにあらためて厚く御礼申し上げます。

また、関係各位の皆様におかれましては、平成31年の初春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。皆様方にとりまして良き一年になりますようご祈念申し上げます。

さて、昨年の6月より建設が始まりました「養護老人ホームぬく森」も、いよいよ1月末には完成引渡しとなり、2月には竣工式及び内覧会を、4月には運営開始となります。地域の皆様方には工事期間中、何かとご迷惑をお掛けしたと思いますが、ご協力をいただきまして感謝申し上げます。

今回新たに開設する「養護老人ホームぬく森」を始めとする、施設運営、通所介護事業所等の事業運営、犬山市より委

託されている「高齢者あんしん相談センター」の地域事業運営と、様々な形で高齢者福祉事業を運営させていただいております。今後も介護・医療の役割分担と切れ目のない連携を着実に進めることが重要であり、社会福祉法人として「地域包括ケアシステム」の構築に携わりつつ、事業運営に引き続き尽力してまいります。

また、今回新設される「養護老人ホームぬく森」内には「企業主導型保育所ぬく森」が併設されます。多様化する働き方の中、ぬく森グループで働く職員にとって、より働きやすい環境に繋がっていくよう努めてまいります。

利用者様と、運営する側と、そこに働く職員と、そして法人に携わる全ての皆様と共に、「ともいき」の心を分かち合い、お互いが人として認め合い、助け合い、「想い」を共有したいと思います。

我々の「想い」のつながりが、地域社会貢献に導かれていくと信じています。歴史と文化が育まれた犬山の地で、芽吹き、花を咲かせ、幹を伸ばして成長する樹木のように。今までも、そしてこれからも、皆様と共にありたいと願っております。

犬山市長
山田 拓郎



「ともいきの魂」

あけましておめでとうございます。本年も皆様にとりまして充実した年になりますようご祈念申し上げます。また、昨年11月の市長選挙を経て、2期目の山田市政をスタートさせていただきました。今後ともご指導賜りますよう、よろしく願いいたします。

さて、今年は市の養護老人ホームが、ともいき福祉会様へ移管されることとなります。単に施設が新しくなるというだけではなく、ともいき福祉会様のこれまで培ってこられた理念が、事業展開へ息づくことに

意味があります。

その理念とは、「共生の思想」です。ケアされる人も、ケアする人も、ケアを通じて双方の癒しと喜びを創造し、立場を超越してともに生きようというコンセプトです。ともいき福祉会様の「共生の思想」に深く共感するとともに、新たな施設へ「ともいきの魂」が宿り、心の通う事業が展開されることと確信しています。

スタッフの皆様のもるく丁寧な姿勢に敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。ありがとうございます。

ぬく森家族会

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり「ぬく森家族会」会員を始め地域の皆様には、ご家族お揃いで清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。会員を代表いたしまして、家族会の運営・活動に対し格別のご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年1年を思い起こせば、大阪北部地震、西日本豪雨、北海道東部地震、相次ぐ大型台風の襲来等、災害に始まり災害に終わった1年という感が否めません。被災された多くの皆様方に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興を願ってやみません。

ぬく森家族会会員としましては、これまで以上に防災・防犯対策の充実を期待いたしております。

また、今年は皇太子さまが天皇陛下に即位され、元号が平成から新しい元号に改められる年となります。皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう願っています。

一方、国においては介護の担い手となる介護士の確保が急務であり、外国人労働者の受け入れが喫緊の課題となっています。外国人の方と一緒に高齢者を支えていくことが必要であると痛

感しています。

我々、家族会の会員としましては、介護が必要になった時いつでも入居できる施設の確保など、高齢者の方々が自宅や地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、これまで以上に社会保障の充実を望んでやみません。

「ぬく森家族会」を代表いたしまして、ご利用者様・ご家族様の期待を胸に家族会のより一層の充実を願い、地域の皆様と一緒に楽しむことが出来る様々な取り組みを行って参りたいと考えております。色々なご意見やご提案をいただけると幸いです。

「ぬく森」は理事長はじめ職員の皆さんの普段の努力により、常に質の高い「介護サービス」が提供されている施設です。これからも地域福祉の充実のため、先頭立って牽引していただきたいと思います。

最後に、ご利用者様並びにご家族の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

本館代表 小川 奈保美
新館代表 小島 立也
第二代表 森 茂 行

特別養護老人ホームぬく森第二施設長
宇恵 和美



あけましておめでとうございます。年号が変わる記念すべきこの年が皆さま方にとりまして、嬉しい、楽しい、佳き年となりますことをお祈りしております。

昨年の漢字は「災」でした。振り返れば、本当にさまざまな「災」を身近に感じる一年だったと思います。

日本各地で、被害を受けられた皆さまには、いまだご苦労も多く、大変な年越しをされた方もいらっしゃると思います。心からお見舞いを申し上げます。

ぬく森・第二も、台風21号の襲来で、15時から翌9時まで停電いたしました。真っ暗な状態での一晚は、利用者さまには大変ご不安をおかけしたものの、非常時・緊急時の日ごろからの対策の重要性に、改めて気付かされることがあり、スタッフ一同「自然の力」から教訓をいただいた次第です。

災害が起こるのは一瞬のこと。その前後、何をしていたか、何

をしたかがとても大切です。福祉避難所にも指定されている当施設は、常に、減災・防災の備えを忘れることなく、今年も、利用者さまやご家族及び地域の皆さまに安心していただける拠点としての環境を一層整えて参りたいと思います。

さて、いよいよ来春には、ぬく森・第二の西側に「養護老人ホームぬく森」が開設いたします。利用者さまや地域の皆さまには、建設工事等でご迷惑をお掛けして参りましたが、建物の1階には、デイサービスや保育所も開設予定となっております。子どもからお年寄りまで多くの人がここに集い、スタッフを含めて賑やかに穏やかに過ごし、また、笑顔あふれる場所になることを切に期待するものであります。

どうか、地域の皆さま方にはお気軽に立ち寄りいただき、今年も、ともいき福祉会、ぬく森・第二の運営に関しまして、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「災い転じて福となす」今年の漢字が、幸福を表すように、改元年、新しい時代に向けて、幸先の良いスタートを切れることを祈念し、私の新年の挨拶とさせていただきます。

特別養護老人ホームぬく森副施設長
藤田 雅徳



あけましておめでとうございます。日頃はぬく森に対し格別のご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

2018年「今年の漢字」に「災」が選ばれました。昨年は、北陸の豪雪、大阪北部や北海道地震、西日本豪雨、台風21号など災害が相次いだ年となりました。

9月に上陸した台風21号は、ぬく森にも被害をもたらしました。正門入ってすぐ横の大木が1本倒れ、断水や停電も起こりました。当初、すぐに復旧をするだろうという勝手な思い込みをしておりました。しかし、1時間たっても2時間たっても復旧の目途はたたず、日が暮れていき館内が闇に包まれ、無情にも時間だけが過ぎていきました。急いで、懐中電灯やランタンを買いに走り、最低限の灯りは確保することができましたが、夕食の時間になっても復旧することがなく、食事の配膳は職員総出で階段を利用

して各階に配膳をしました。

当日の21時過ぎには復旧をしましたが、この出来事で断水や停電の対策を見つめなおす機会になりました。

断水や停電の中、ご入居されている皆様方が体調を崩されることもなく、お過ごしいただけたことは幸いでした。

ぬく森でも非常食・飲み水の準備等を計画的に毎年行っておりますが、今後起こり得る災害に対する対策を今一度考えていきたいと思っています。

また、ぬく森・第二や今年4月に開設予定の養護老人ホームぬく森とも連携して、非常災害時の対応・対策をおこない、地域の皆様にも安心していただけるような場所づくりを目指していきたいと思っています。

2019年は幸せや嬉しさなどが表れる明るい漢字が選ばれる年になってほしいと思います。慶福溢れる施設となるよう職員一同協力して参りますので、今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

点灯式

第6回ぬく森イルミネーション点灯式を11月18日(日)に開催しました。利用者様、ご家族様、職員やその家族など、220名を超える皆様にご参加いただきました。点灯式前のミニコンサートでは、職員によるフルート独奏やピアノとのセッションをお楽しみ頂きました。続いて、ボランティア様が素敵な歌声を披露。伸びのある高音が会場を包み込み、歌の世界に引き込まれました。

フィナーレは毎年恒例、藤竹バイオリン教室様によるバイオリン演奏です。ソロやクインテットなど多彩な音色で会場は一気にクリスマスムードになり、利用者様もリズムをとりながら楽しんでおられました。

辺りが暗くなってきた頃、いよいよ点灯式のはじまりです。本館2階・3階の利用者様にもその場で楽しんでいただけるように施設の建物と同じ高さの7m超えの3代目NEWモミの木を中庭に設置しました。点灯は各施設の利用者様の代表、参加してくれた子供たちの代表、そして特別招待の「わん丸君」が、担当してくれました。司会者の合図とともにスイッチオン!色とりどりに輝くイルミネーションに歓声が湧き上がりました。その後はサンタクロースから子供たちへプレゼントが渡され、また、サンタクロースぬく介とトナカイぬく実がデザインされた250人分のぬく森オリジナルケーキを切り分け、みんなでおいしくいただきました。インスタ映えするクリスマスツリーの前で記念写真を撮るなど、今年も利用者様に楽しんでいただけたイベントとなりました。



ともいきもちつき大会

毎年恒例の「ともいきもちつき大会」を12月27日(特養ぬく森・第二)、12月28日(特養ぬく森)の両日に開催しました。

地域の皆様をはじめ、この日を楽しみにしてみえた利用者様、裏方として参加していただいたボランティアの皆様、ぬく森家族会の皆様で、両日も100名を超える参加者で盛大に盛り上がりました。特にぬく森・第二では、ホールを開放して10升のもち米を2つの臼で楽しくつき、きな粉餅やあんこ餅の他、第二名物「茹ジャガ餅」を豚汁と共においしくいただきました。またぬく森・本部では、屋外特設会場にて、用意していた15升のもち米を3つの臼で、舌の臼は子供たち、式の臼は利用者様、参の臼は職員がつき、きな粉餅、あんこ餅、醤油餅とぬく森特製ぜんざいとしておいしくいただきました。

ぬく森家族会の皆様、ボランティアの皆様には平成最後のともいきもちつき大会を盛り上げていただきまして誠にありがとうございました。

12月27日(木)特養ぬく森・第二



12月28日(金)特養ぬく森



高齢者叙勲(教育功労)受章 長瀬照明様



左:施設長 平松信治 右:長瀬照明



祝賀会の風景

内閣府より平成30年11月1日付で高齢者叙勲の発表がありました。なんと！そこにはケアハウスハートフルに入居されている長瀬さんの名前があり、職員一同とても嬉しく誇りに思いました。長瀬さんは39年間学校教育の場に教員として奉職され、その功績に対し、『瑞宝双光章』を受章されました。

普段は元校長ということもあり厳格で凛々しい雰囲気ですが、奥様と会う時は穏やかに優しい雰囲気です。犬山市と犬山商工会議所共催の叙勲・褒章受章者を祝う祝賀会では代表でスピーチをされ、喜びが溢れ笑顔が輝いていました。

※高齢者叙勲とは、米寿叙勲とも言われ、国家又は公共に対し功労を有した88歳になられた方が対象となります。

デイサービスセンターぬく森の館 ぬく森の館祭り

場所：ぬく森の館

たこ焼きやかき氷、輪投げ等いろいろなお店をご用意。特に盛り上がったのは、ちょっと季節外れのスイカ割り！「そこ右！」「左！左！」などの声援が飛び交い、会場は白熱しました。興奮冷めやらぬ中、職員も音楽に合わせて踊りを披露。みなさまから温かいお言葉をいただき、大盛況でした。

9月
5日

城東地区高齢者あんしん相談センター 認知症高齢者徘徊搜索訓練

場所：城東中学校

城東中学校1年生を対象に、徘徊している方を見つける声をかけることを目的とした訓練を行いました。4人の先生に校内を徘徊する役をお願いしました。生徒さんたちは先生の迫真の演技に戸惑いながらも講座で学んだとおりに優しく声をかけることができました。今回の経験を大人になっても忘れないですね。

9月
13日

特養ぬく森新館 さんまレク

場所：新館

食欲の秋！という事でさんまレクを行いました。入居者の方にもおかず作りを手伝っていただきました！炭火で焼き立ての秋刀魚を秋空の下で食べました。少し肌寒い中でしたがお天気に恵まれ暖かい豚汁と一緒に、「美味しいね。」と楽しそうに食べられていました。

10月
30日

特養ぬく森本館 一泊旅行

場所：伊勢志摩方面

毎年恒例の一泊旅行！今年は伊勢、志摩方面へ旅してきました。おかげ横丁や伊勢神宮、夫婦岩など名所を散策し、美味しい季節の食材を使った料理に利用者の皆さんはとても楽しまれました。「また来たいな」と満面の笑みで話して頂いたのでうれしく思いました。

11月
12・13日

ケアハウスハートフル セントレア中部国際空港見学

場所：セントレア中部国際空港

空港はクリスマスバージョンできれいでした。自由行動で、または食堂で食べる方、鈴鹿で食べる方、ユニクロで買い物する方、デッキで飛行機を見る方…。皆さん思い思いに自由時間を楽しまれました。

12月
7日

特養ぬく森・第二 紅葉外出

場所：桃太郎神社

肌寒くなり綺麗な赤や黄色へ衣替えした樹々を見に桃太郎神社へ外出してきました。桃太郎神社へ行く前にリクエストのあった美味しい和食で腹ごしらえ。桃太郎神社でもみたらし団子を食べながら美しい紅葉を眺め、「イチョウもモミジもきれいに色付いてるね」と話しながらゆったりとした時間を過ごしました。

11月
26日

第47回ほっとカフェ倶楽部

日時：9月16日(日)
参加者：39名

歌手の安室奈美恵さんがラストライブを行い引退した9月。介護士 桑原さん指揮のもとみなさんと安室さんに負けず劣らずの美声で季節の歌をうたいました。タオル体操では腕や肩を伸ばしたり、手首を使った運動をしたり、ワイワイと楽しく身体を使いました。



第48回ほっとカフェ倶楽部

日時：10月21日(日)
参加者：45名

涙に含まれる糖分で発電し、血糖値を把握測定できるコンタクトレンズが名古屋大学研究グループより発表された10月。今回の創作活動『ポケットタペストリー』がインスタ映え間違いなしの創作活動史上最高傑作でした。時間の都合上リズム体操ができませんでしたが、素晴らしいものができました。



第49回ほっとカフェ倶楽部

日時：11月18日(日)
参加者：43名

チョコレート菓子「キットカット」の新しい味を決める総選挙で、「いちごティラミス味」が1位になった11月。ほっとカフェ倶楽部も新しいこと(ぬく森式コグニサイズ)にチャレンジしました。飽きが来ないよう頑張ります！



第50回ほっとカフェ倶楽部

日時：12月16日(日)
参加者：40名

ふたご座流星群が極大を迎えた12月。ほっとカフェ倶楽部も大台の50回を迎えることができました。2019年も家内安全・無病息災を祈るため、フェルトを使ったかわい門松を作り、流れ星にお願いしました。新元号となる2019年もよろしくお願いたします。



次回案内 地域の皆さんの参加をお待ちしております。

開催日：2月17日(日) 午前10時～11時30分
内容：創作活動(ひな飾り)
申込み：電話またはメールでお申し込み下さい。

申込先、問合せ先は デイサービスセンターぬく森の館
担当：江口・高木・桑原・村上
電話：0568(65)0077 メール：day@tomoiki.or.jp